児童生徒が輝くクラスづくりのための総合質問調査

令和
9年度

アイ・チェック
i-check

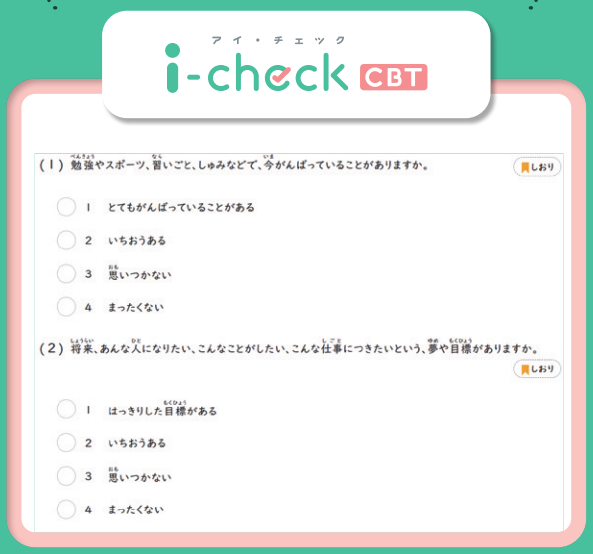
商品の特長

1. 多角的な結果資料から、児童生徒のよいところと課題の双方を深掘りできます。(p.4〜10)
2. 「レーダーチャート」や「散布図」などの充実したグラフで、学年やクラスの傾向を視覚的に把握できます。(p.4〜7)
3. 「リスクマネジメント」の表で、支援が必要な児童生徒をすぐに把握できます。(p.6〜7)
4. 同一年度内の複数回実施で、児童生徒やクラスの変化を把握できます。(p.13)
5. 弊社発行の『標準学力調査』との併用で、学力と質問調査項目の関連性を分析できます。(p.12〜13)

監修・編著　住本克彦　金沢学院大学 教授

1 学年の傾向を把握する p.4
2 クラスの傾向を把握する p.6
3 児童生徒について詳しく把握する p.8

Web受検で、即日結果返却！



紙の調査でも実施可能！

東京書籍

児童生徒の充実した学校生活のために

先生方のよりよい学校経営・学級経営のために

i-checkの紹介動画(YouTube)をご覧いただけます。

※PBTの結果資料をもとにした紹介動画です

i-check コンセプト

i-checkは、「自己肯定感」や「ソーシャルスキル」などの様々な視点で、児童生徒の個性や背景、今の心のありようを立体的に描き出す調査です。児童生徒一人ひとりが自分を大切に思えているか、クラスの人間関係、いじめの実態、悩みなど、表出しにくい様々な情報を可視化します。

先生方の学級経営や総合的な児童生徒理解に、i-checkをぜひお役立てください。

質問のカテゴリー

全19カテゴリーで、総合的に学校・クラス・個人の状況を把握できます。

第1	第2	第3
自己認識	愛されていますか	家族のささえ
		友だちのささえ
		先生のささえ
	自己肯定感	成功体験と自信
		充実感と向上心
		感動体験
		他者からの評価※1
社会性	ソーシャルスキル	規範意識
		思いやり（人間関係構築力）
		発信力
		対話・話し合い
	社会参画	社会参画※2
学級環境	学級風土	学級の規範意識
		学級の絆
	リスク管理	いじめのサイン
		対人ストレス
学習習慣・生活	生活習慣	生活習慣
	学習習慣・意欲	学習習慣
		学習意欲

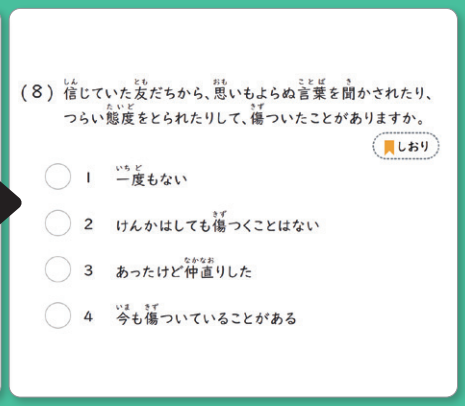
※1 「他者からの評価」は小学校3年生からのカテゴリーです。
※2 「社会参画」は小学校5年生からのカテゴリーです。

質問に答えやすい工夫

学齢に合わせた適切な数の質問を用意しています。また、児童生徒が具体的なイメージを持てるよう、質問項目を工夫し、答えやすくしています。

信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。

1 とてもそう思う
2 少しそう思う
3 あまりそう思わない
4 まったくそう思わない



自己肯定感を測ることができる

i-checkでは、自己肯定感に関して様々な観点の質問項目を用意しています。

【質問例】
・自分には、いいところがあると思いますか。
・勉強やスポーツ、習いごと、しゅみなどで、今がんばっていることがありますか。
・学校の行事や活動の中で、あなたの心に残っていることがありますか。

※「小学校5年生～中学生」向けの質問文を表示しています。

i-checkは、CBTでの調査と紙の調査（PBT）のどちらもお選びいただけます。
次のページから、i-checkの特長について、詳しく解説します。

※CBT … 「Computer Based Testing(コンピュータ ベースド テスティング)」の略称で、コンピュータを使った試験方式のこと
※PBT … 「Paper Based Testing(ペーパー ベースド テスティング)」の略称で、紙と筆記用具を使って回答する試験方式のこと

1 学年の傾向を把握する

CBT ― マイアセスで結果を見る

マイアセス とは 〉 東京書籍が提供する評価と学びのサポートシステムです。オンライン調査「マイアセスCBT」、結果帳票「Webカルテ」、学びを広げる「教材連携機能」をご提供します。

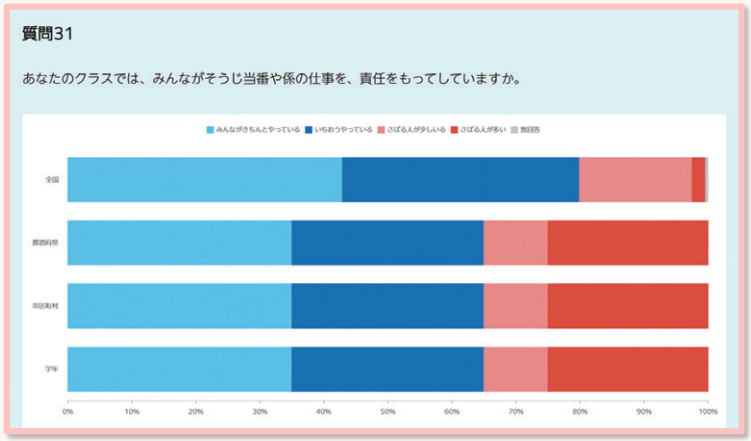
●レーダーチャート・スコア表

	他者からの評価	規範意識	思いやり	発信力	対話・話し合い	社会参画	学級の規範意識
全国	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
学校	54.6	52.0	51.5	55.3	54.0	49.3	47.2
1年1組	56.0	51.4	51.9	55.7	54.8	48.2	45.9
1年2組	54.2	52.0	51.5	55.1	53.7	49.3	52.8
1年3組	54.1	51.7	50.7	55.0	53.1	49.8	42.9
1年4組	54.2	53.0	51.9	55.5	54.4	49.9	46.7

CBTならでは！

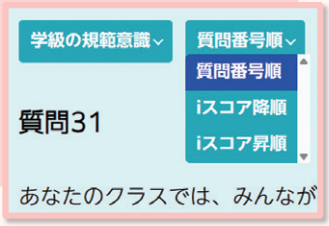
受検後、即日で結果を確認できます。また、カルテはデータの加工などに適したExcelファイルでもダウンロードできます。

●回答構成比



絞り込み・並べ替え

表示する回答構成比をカテゴリーで絞ったり、スコア順に並べ替えたりできます。



CBTならでは！

確認したい項目に絞って見ることができます。

POINT

学年全体の状況を大まかに把握する

❶ レーダーチャートやスコア表の確認

まずは、学年全体のレーダーチャートを見て、状況を把握します。標準スコアで50を上回っているところは全国と比べて状況がよく、下回っているところは全国と比べて課題のあるカテゴリーです。

児童生徒の回答をそのまま点数化したｉスコアを確認することも重要です。

気になるカテゴリーは、質問項目ごとに深掘り！

特にご覧いただきたい先生：管理職・学年主任の先生

i-checkは、学年全体の状況を俯瞰して確認することで、状況のよいクラスや、課題があるクラスを把握し、学校全体でのサポート体制づくりに役立てていただけます。

PBT ― 紙の資料で結果を見る

※紙の結果帳票はモノクロでご提供します。CDでご提供するデータはカラーです。

●スコア表

【標準スコア】

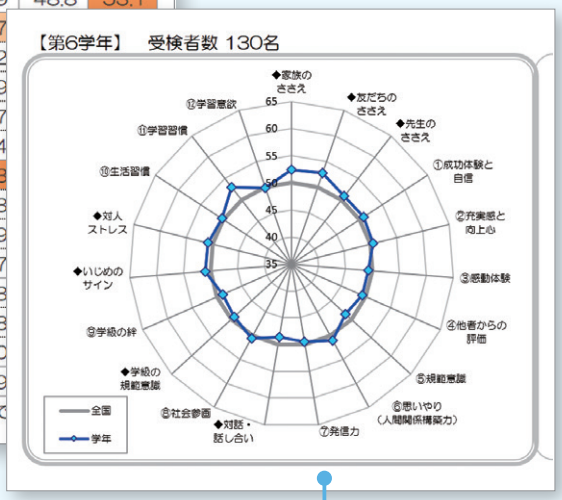
		全国	学年	1組	2組	3組	4組
自己認識	◆家族のささえ	50.0	52.4	50.8	50.2	53.2	55.3
	◆友だちのささえ	50.0	52.7	50.5	51.7	52.6	56.0
	◆先生のささえ	50.0	50.9	47.0	51.0	50.7	54.6
	①成功体験と自信	50.0	50.9	49.1	49.0	49.6	56.0
	②充実感と向上心	50.0	50.5	47.6	48.3	51.2	54.6
	③感動体験	50.0	49.2	45.2	47.6	48.8	54.9
	④他者からの評価	50.0	49.2	46.0	48.9	48.8	53.1
社会性	⑤規範意識	50.0	48.6	49.2	46.7		
	⑥思いやり（人間関係構築力）	50.0	50.9	49.7	50.2		
	⑦発信力	50.0	49.5	47.2	49.9		
	◆対話・話し合い	50.0	48.6	42.3	49.7		
	⑧社会参画	50.0	50.5	48.8	49.4		
学級環境	◆学級の規範意識	50.0	49.4	43.4	54.3		
	⑨学級の絆	50.0	48.9	45.5	50.3		
	◆いじめのサイン	50.0	51.0	49.3	50.9		
	◆対人ストレス	50.0	50.9	50.4	50.7		
生活・学習習慣	⑩生活習慣	50.0	50.3	50.0	48.3		
	⑪学習習慣	50.0	53.0	52.6	50.8		
	⑫学習意欲	50.0	49.8	47.0	50.0		
平均		50.0	50.4	48.0	49.9		

※「◆いじめのサイン」「◆対人ストレス」は他の項目同様、値の高い方が良好（心配のない状況）で

スコア表

全国と比べた傾向を確認できる標準スコアと、児童生徒の回答を点数化したｉスコアがあります。

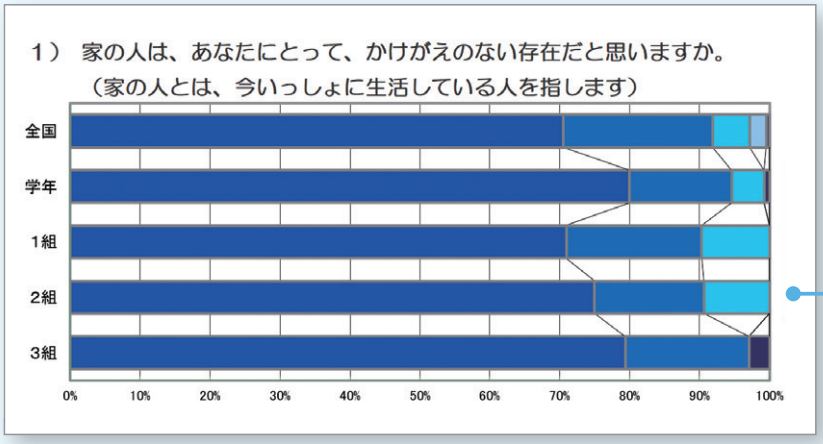
●レーダーチャート



レーダーチャート

全国と比べて、学年として状況がよい、もしくは課題があるカテゴリーを視覚的に確認できます。

●回答構成比



回答構成比

各質問に対する学年やクラスの回答結果割合を、全国などと比較しながら視覚的に確認できます。

② 回答構成比の確認

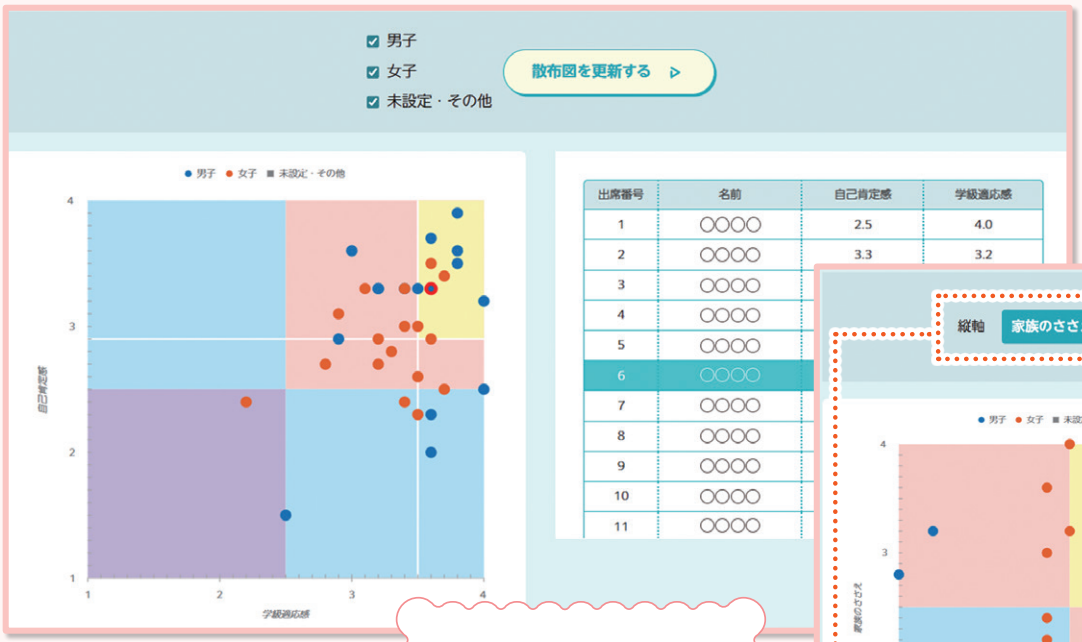
レーダーチャートやスコア表での学年の分析結果をもとに、気になるカテゴリーの各質問について、回答構成比で学年の回答結果割合を確認します。

どの質問の回答に特徴があるのかを詳しく確認することで、学年の状況を深く把握できます。

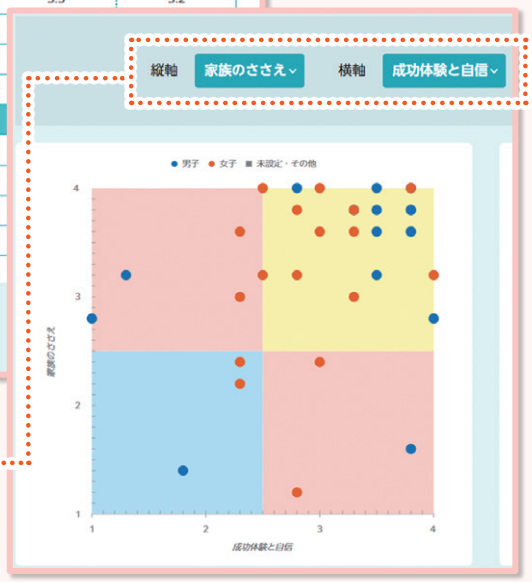
2 クラスの傾向を把握する

CBT ― マイアセスで結果を見る

●散布図および、散布図における横軸と縦軸のｉスコア



●フリー散布図

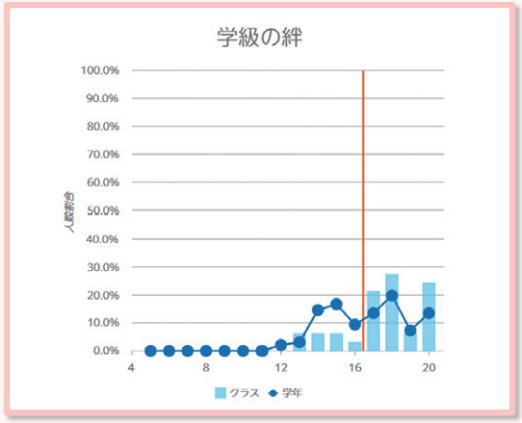


CBTならでは！

CBTでは、「フリー散布図」で気になるカテゴリー同士の関連を自由に分析できます。

●リスクマネジメント

●度数分布



POINT

クラス全体の状況を把握する

レーダーチャートやスコア表、散布図などの確認

クラスについても、学年と同様に、まずはレーダーチャートやスコア表で全体の状況を大まかに確認します。次に、散布図や度数分布、リスクマネジメントを確認します。散布図や度数分布で左や下の方にプロットされている児童生徒に着目することで、困りごとを抱えている可能性がある児童生徒を把握します。

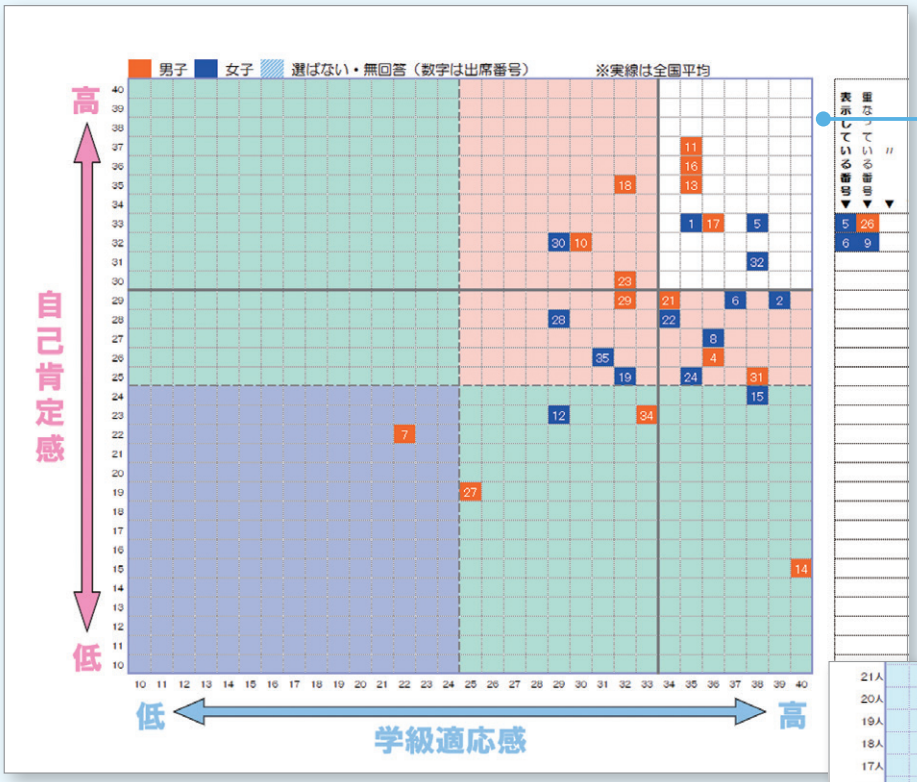
クラス全体から、気になる児童生徒に着目！

特にご覧いただきたい先生：学級担任の先生

i-checkは、クラス全体の雰囲気や傾向を直感的に把握できます。集団としての特性を捉えてよいところをさらに伸ばしたり、支援が必要な児童生徒のサインにいち早く気づいたりすることができます。

PBT — 紙の資料で結果を見る

●散布図



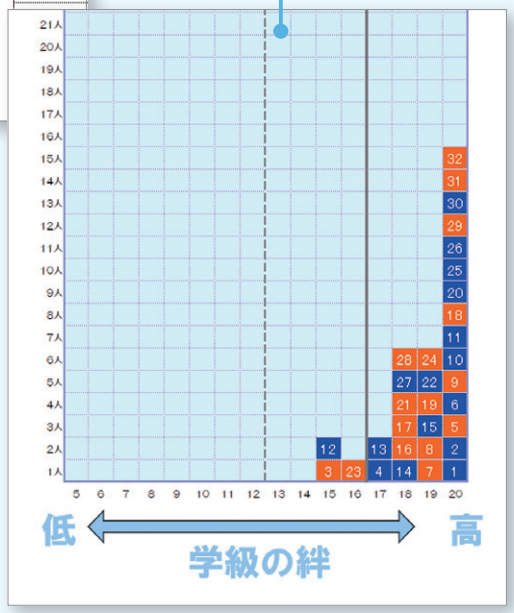
散布図

児童生徒一人ひとりの心の安全や、クラス内の関わり合いの状況を確認することができます。

度数分布

児童生徒が自分のクラスのことを好きかどうかなど、クラスへの愛着度を確認できます。

●度数分布



●リスクマネジメント

1 いじめのサイン

「いじめのサイン」について、カテゴリー標準スコアの数値が一定以下の児童・生徒をリストアップしています。

出席番号	性別	名前	標準スコア
7	男	OOOO	35.0
27	男	OOOO	35.0
10	男	OOOO	37.8
23	男	OOOO	37.8
30	女	OOOO	37.8
16	男	OOOO	41.0
18	男	OOOO	41.0
28	女	OOOO	41.0

リスクマネジメント

個人の心・体の安全に関わるカテゴリーについて、困りごとを抱えている可能性がある児童生徒を一覧で把握できます。

支援が必要な児童生徒を把握する

児童生徒ごとの回答結果一覧(▶p.8〜9)の確認

散布図などの確認で困りごとを抱えている可能性がある児童生徒を把握したら、その児童生徒の「回答結果一覧」などを詳しく確認します。各質問への回答結果を具体的に確認することが、児童生徒の困りごとの要因の推定や、対応方法の検討につながります。

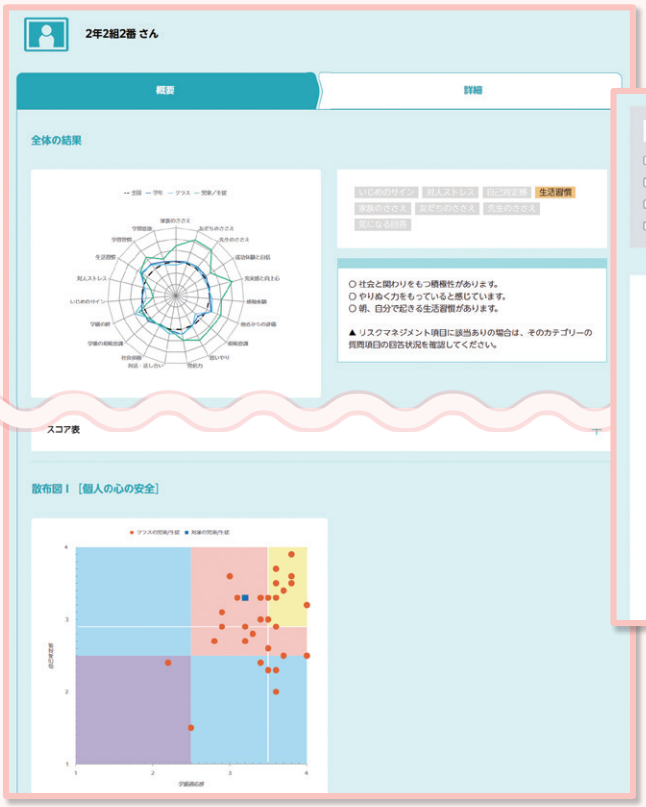
3 児童生徒について詳しく把握

CBT ― マイアセスで結果を見る

●回答結果一覧(カテゴリー別)

●回答結果一覧(質問項目別)

●子どもカルテ



CBTならでは！

児童生徒ごとに、散布図での位置や、全質問についての回答を一覧で確認することができます。

POINT

児童生徒の困りごとの要因を探る

クラスの状況の確認の際に気になった児童生徒について、「回答結果一覧(カテゴリー別)」を見て、カテゴリーごとの結果を確認します。

課題のあるカテゴリーは、さらに深掘り！

課題のあるカテゴリーは、「回答結果一覧(質問項目別)」で具体的な回答結果を確認することで、児童生徒の困りごとの要因を探ります。

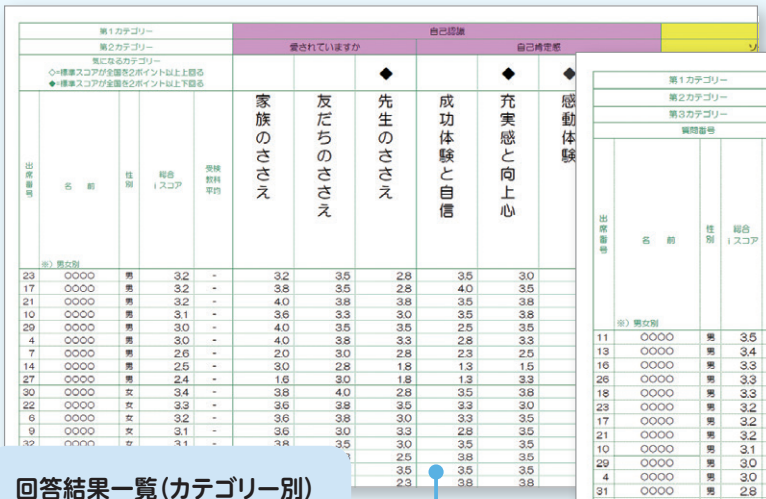
する

特にご覧いただきたい先生：学級担任の先生

i-checkは、児童生徒一人ひとりの回答結果を詳細に確認できるため、先生方の日頃の見取りを補完する参考資料として活用いただくことで、児童生徒に合わせたより丁寧な関わりが可能になります。

PBT ― 紙の資料で結果を見る

●回答結果一覧（カテゴリー別）



●回答結果一覧（質問項目別）

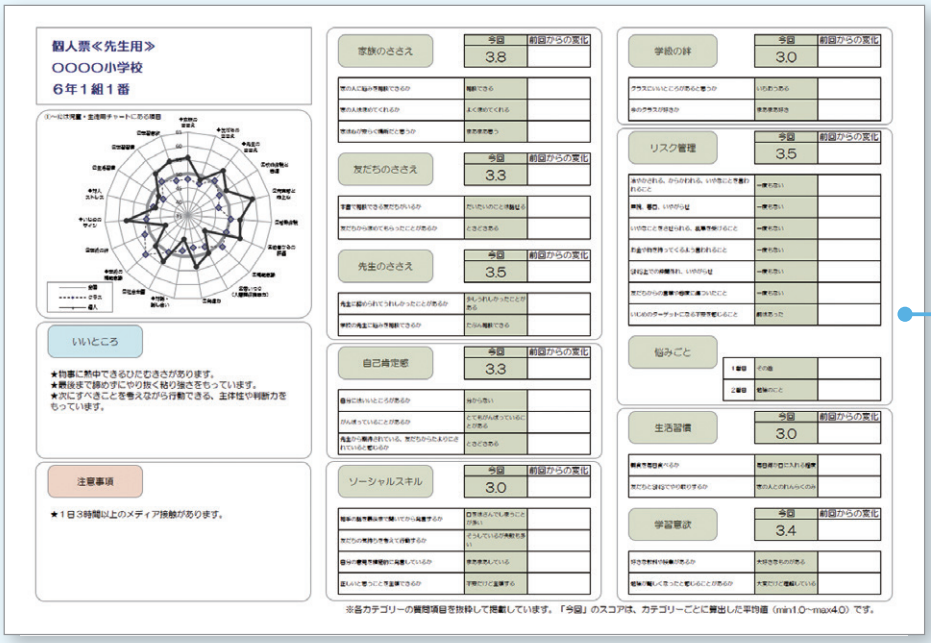
回答結果一覧（カテゴリー別）

児童生徒一人ひとりのカテゴリーごとのスコアを確認できます。

回答結果一覧（質問項目別）

児童生徒ごとに、各質問に肯定的な回答をしたのか、それとも否定的な回答をしたのかを具体的に確認することができます。

●個人票（先生用）



子どもカルテ 個人票（先生用）

児童生徒の状況を示すレーダーチャートとともに、よいところや課題、質問項目についての回答状況を掲載しています。マイアセスの子どもカルテや、紙の個人票（先生用）は、先生のみが閲覧できます。

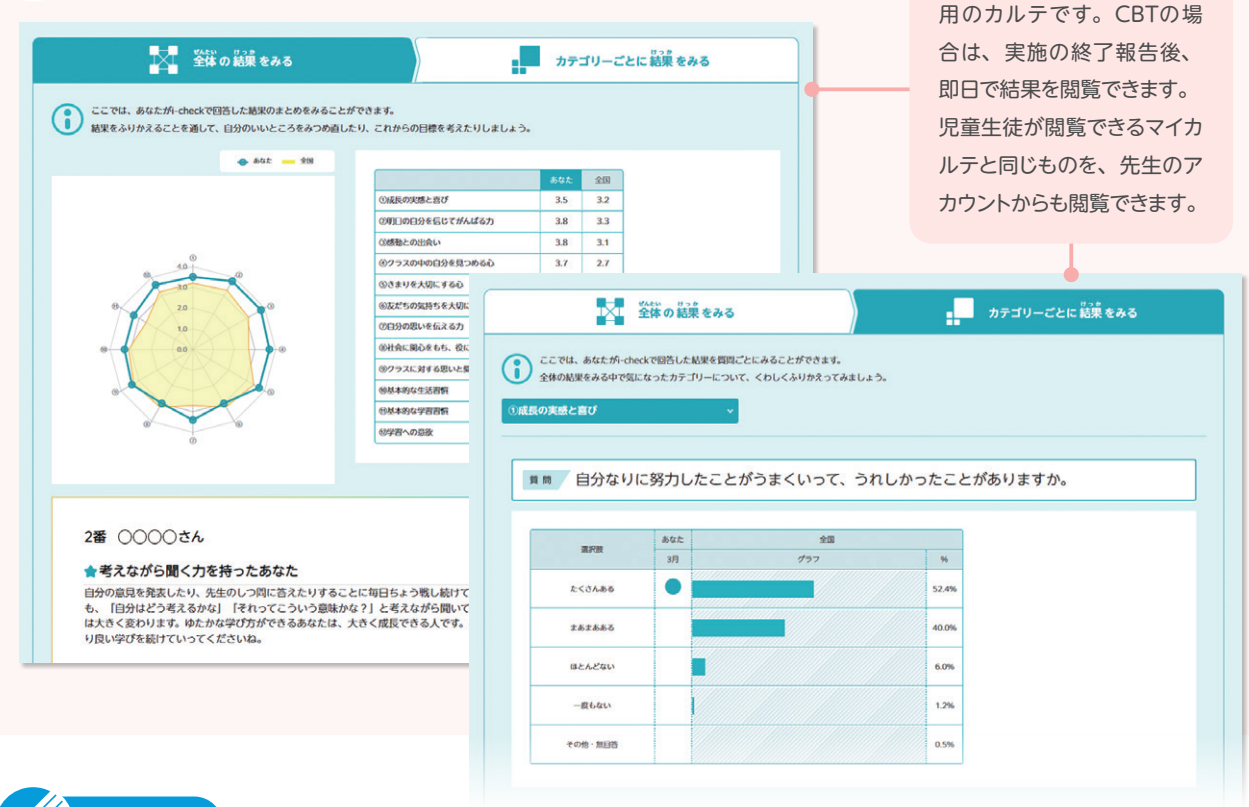
紙の調査でもマイアセスをご利用ください！

CBTの調査を実施した場合、『マイアセス』を利用してWeb上で結果を確認できますが、紙の調査を実施した場合も、ぜひマイアセスをご利用ください。児童生徒一人ひとりの調査結果データと、アカウント情報（total ID）をひも付けることで、マイアセスでの結果閲覧が可能になります。

マイカルテ・個人票（児童生徒用）

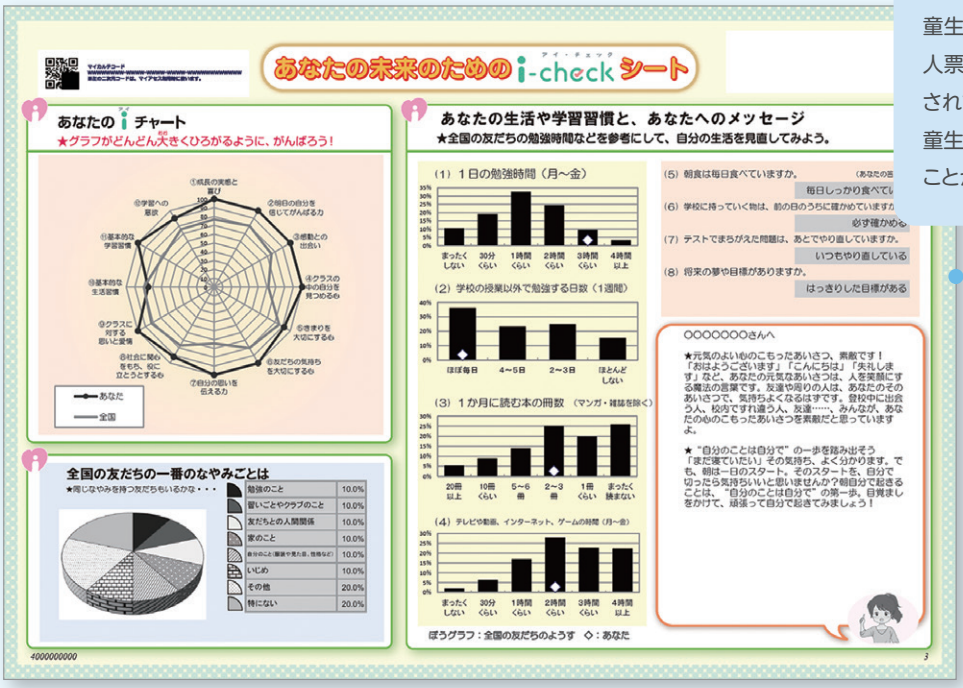
児童生徒には、一人ひとりの回答結果とともに、自身のよさに気づき、次のステップへ進むきっかけとなるよう、よいところと課題をメッセージ形式で掲載した資料を返却します。

CBT ●マイカルテ



「マイカルテ」は、児童生徒用のカルテです。CBTの場合は、実施の終了報告後、即日で結果を閲覧できます。児童生徒が閲覧できるマイカルテと同じものを、先生のアカウントからも閲覧できます。

PBT ●個人票(児童生徒用)

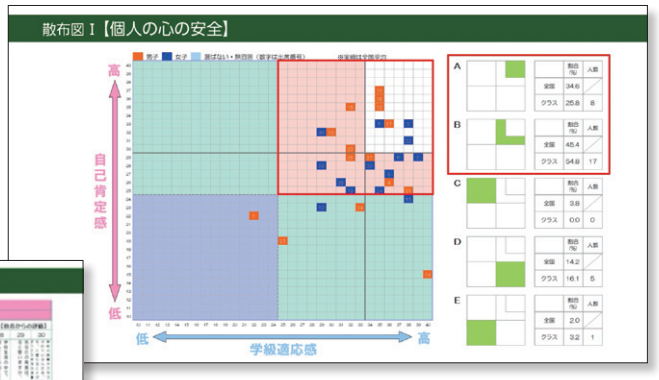


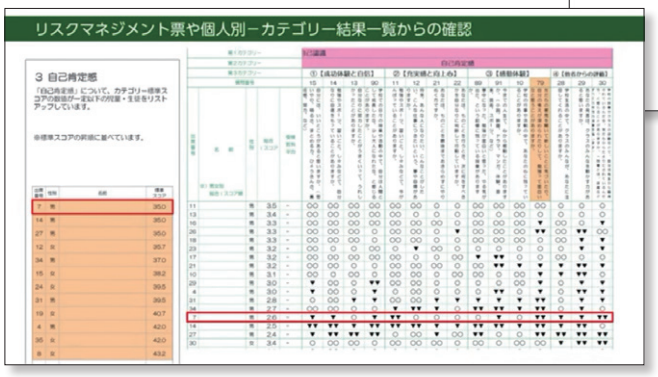
個人票(児童生徒用)は、児童生徒に返却されるほか、個人票(先生用)の裏面にも印刷されていますので、先生も児童生徒用の個人票を確認することができます。

結果の読み取りはこれで安心！

i-check解説動画（ご採用校限定サービス）

i-checkでは、先生方の学校経営や学級経営に役立つたくさんの結果資料をご提供しています。「どのように結果資料を見ればよいかわからない」といった場合に参考となる動画をご用意しています。



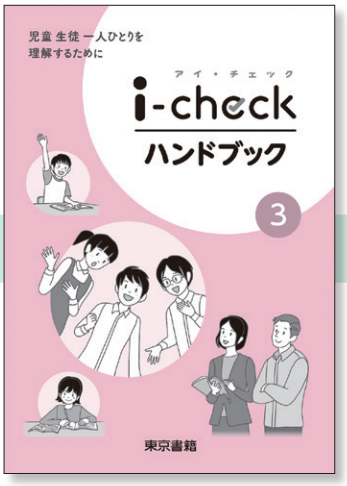


※本動画は、i-checkをご採用いただいた自治体様・学校様を対象とした資料です。結果資料を発送する際に、動画を閲覧するための二次元コードを掲載したご案内資料を同梱いたします。

i-checkハンドブック（ご採用校限定サービス）

上記の動画とは別に、結果資料の読み取りの流れを詳しく示したハンドブック（PDF）もご用意しています。分析シートもありますので、ご活用ください。

※本資料は、i-checkをご採用いただいた自治体様・学校様を対象とした資料です。結果資料を発送する際に、ハンドブックを閲覧するための二次元コードを掲載したご案内資料を同梱いたします。また、二次元コードは結果資料の表紙にも印刷しています。



i-checkの詳しい内容はこちら

i-checkご説明用資料

i-checkのカテゴリーの設計や質問数、結果資料などの詳細については、ご説明用資料をご覧ください。ご説明用資料についてのお問い合わせ等は、本パンフレット最終ページに記載されている各支社までご連絡ください。

ご説明用資料の項目

- カテゴリーの設計／質問数
- 質問項目一覧
- 結果帳票
- 回答結果の読み取り
- 個人票
- 学力調査とのクロス集計
- 前回からの推移

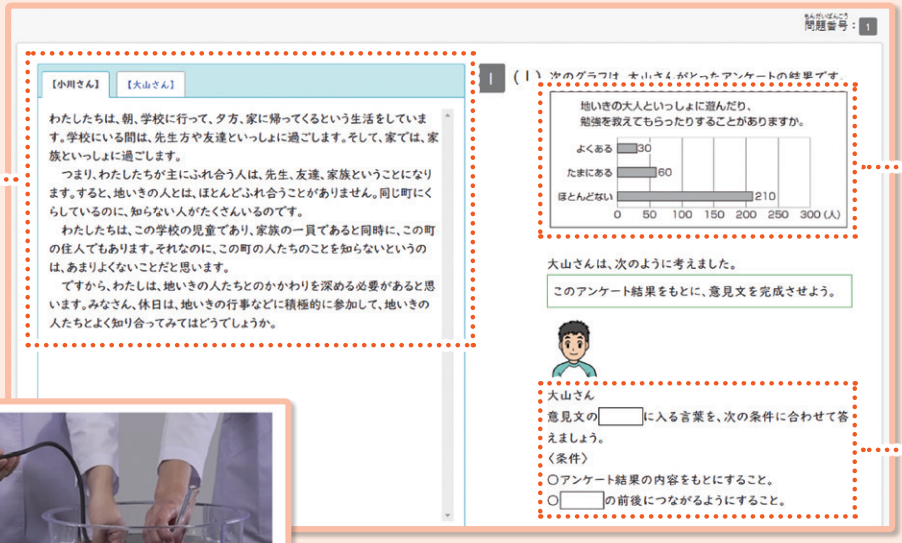
※「ご説明用資料」「ハンドブック」「解説動画」は、紙のi-checkをベースにした解説資料です。マイアセスでの結果の見方の解説については、「i-check CBTユーザーマニュアル」をご用意しています。

標準学力調査 のご紹介

標準学力調査 CBT

CBTならではの多様な出題形式で、多角的に学力を測定します。自動採点による即時の結果返却が、先生の負担軽減とスピーディーな指導改善を支援します。

長文を表示させることにも対応しています。タブの切り替え・縦書きにも対応しています。



グラフや表を活用する問題を積極的に出題します。

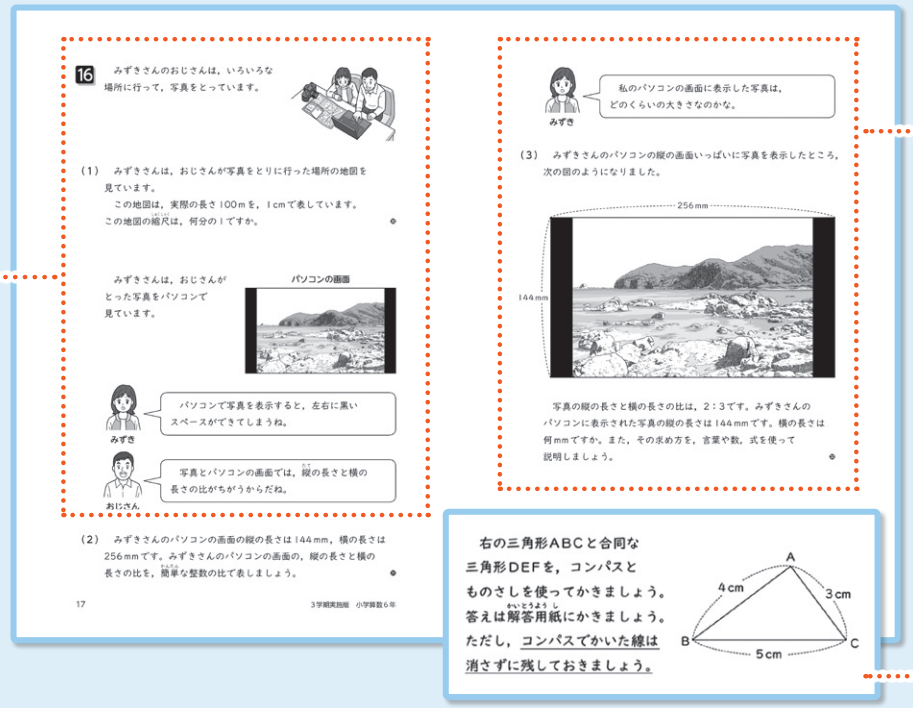
考えて表現させる問題を出題します。

動画を活用した問題では、実写の実験映像などから事実を読み取り、答えを導き出す真の論理的思考力を問うことができます。

標準学力調査

東京書籍は、実績のある紙の調査(PBT)も発行しています。児童生徒の発達段階に合わせて「CBT」×「PBT」を組み合わせた柔軟なご提案が可能です。

日常生活で使われている算数について、基本的な知識・技能の定着を測ることができる問題です。



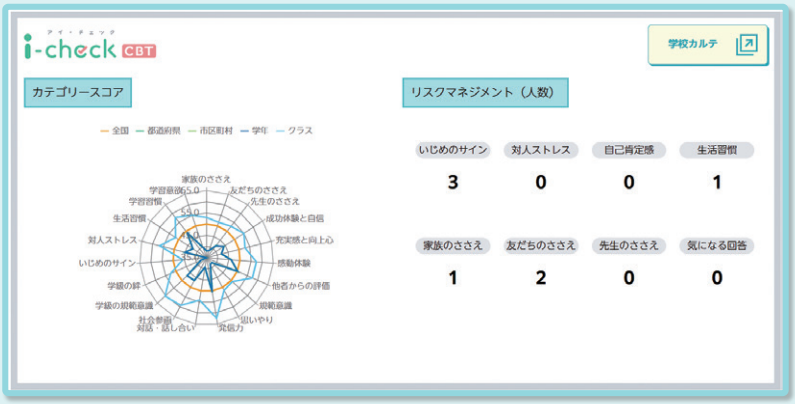
対話の中から出てきた疑問の解決方法について記述する問題です。

PBTならではの作図の問題では、コンパスや定規を使い、自分の手で補助線やグラフをかくことで、「図形の性質」や「関数の変化」を直感的に捉える力を測定できます。

分析機能「マイアセスLab.」について

マイアセスで利用できる分析機能「マイアセスLab.」では、
調査結果のさらに深い分析や、商品同士を組み合わせた分析を提供します。
紙の標準学力調査と標準学力調査 CBTのどちらも、i-checkと組み合わせた分析が可能です。

●ダッシュボード

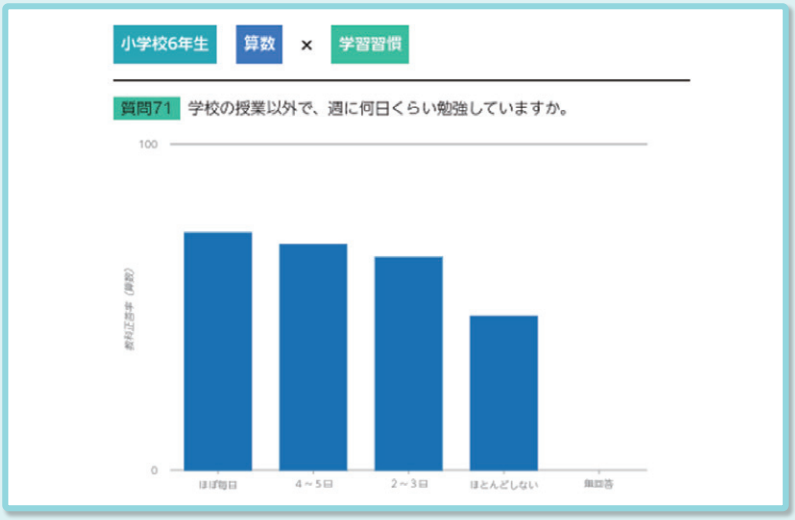


ダッシュボード

標準学力調査やi-checkの受検結果などを、クラス・個人の単位でひと目で確認することができます。

すべての結果がひと目でわかる！

●クロス集計（標準学力調査をご採用の場合のみ利用可能）

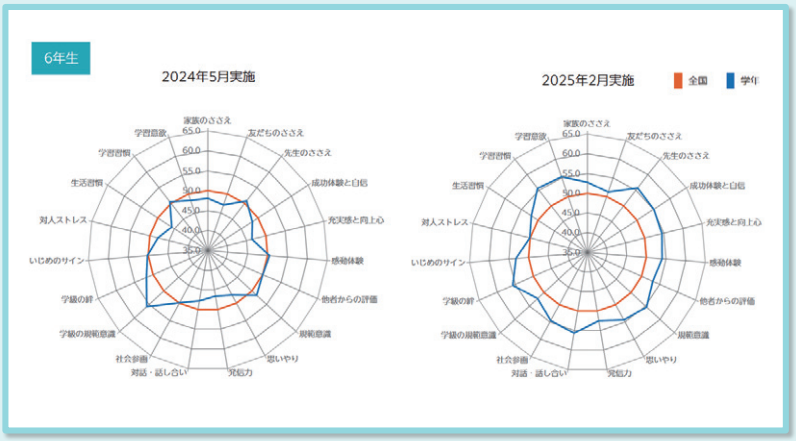


クロス集計

i-checkのカテゴリーや各質問と、標準学力調査の学力階層や正答率をかけ合わせた分析をすることにより、深い児童生徒理解と生活・学習支援につなげることができます。

より多面的な分析が可能に！

●i-check推移変化のレーダーチャート



推移・経年変化

標準学力調査やi-checkの結果について、過去のデータからの推移・経年変化で、児童生徒がどのように成長したのかを把握することができます。

過去のデータからの成長を実感！

生徒一人ひとりの「気づき」をデータで支える

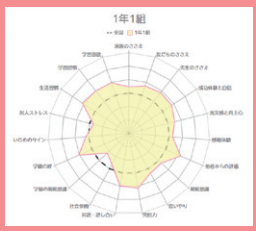
～香南市立野市中学校における i-checkデータ活用～

香南市立野市中学校では、生徒の学級への適応状況や人間関係の課題などを早期に把握し、いじめや不登校といったリスクを未然に防ぐための取り組みを重視しています。この目的のため、質問調査「i-check」のデータを校内研修や日々の指導に活用しています。教頭の春日裕之先生は、「気になる生徒がいた場合には日常的に、i-checkデータをマイアセス上で確認し、生徒の状況を客観的に把握しています。このデータが、学級づくりや個別の生徒指導において非常に役立っていると実感しています」と語ります。

高知県香南市立野市中学校教頭
春日 裕之 先生

質問調査「i-check」はCBT化により、結果が即時にフィードバックされる利便性が生まれました。これにより、教員はタイムラグなく生徒の状況を把握し、迅速かつ効果的な指導を行うことが可能となっています。

i-checkデータ分析



教員間での課題共有

生徒への個別面談

データに基づくリスクマネジメントの実践

勘と経験から客観的な指導へ

i-check CBTの結果資料の中で最も重視しているのはリスクマネジメントページです。このページの活用を通じて、野市中学校では生徒指導を次のページのような具体的な活動に落とし込み、教員の「勘と経験」に頼りがちだった指導を客観的なデータに基づくものへと転換しています。

【リスクマネジメント】＊画像のデータはすべてダミーです。

リスクマネジメントでは、個人の心・体の安全に関わるカテゴリー（「いじめのサイン」「対人ストレス」「自己肯定感」「生活習慣」「家族のささえ」「友だちのささえ」「先生のささえ」）について、スコアが一定以下の生徒を把握できます。

活用例 1

学級内の人間関係を促進

「友だちのささえ」や「対人ストレス」の項目で人数の多かったクラスにおいては、その結果を単なる現状把握に留めず、具体的な支援活動へとつなげています。朝の活動や帰りの学級活動の時間を利用して、意図的に隣席の生徒同士がコミュニケーションを図る活動を実施することで、日常的な生徒同士の関わりを増やし、人間関係の構築を促進させました。

活用例 2

家庭との連携を強化

「家族のささえ」が少ない傾向が見られたクラスでは、学校から家庭へのアプローチを強化しました。頻繁に学級通信を発行したり、個別の家庭連絡をこまめに行ったりすることで、生徒の家庭内での対話を促すきっかけを提供しています。学校と家庭が連携し、生徒を多角的に支える体制を強化しています。

活用例 3

早期発見・継続的な個別対応

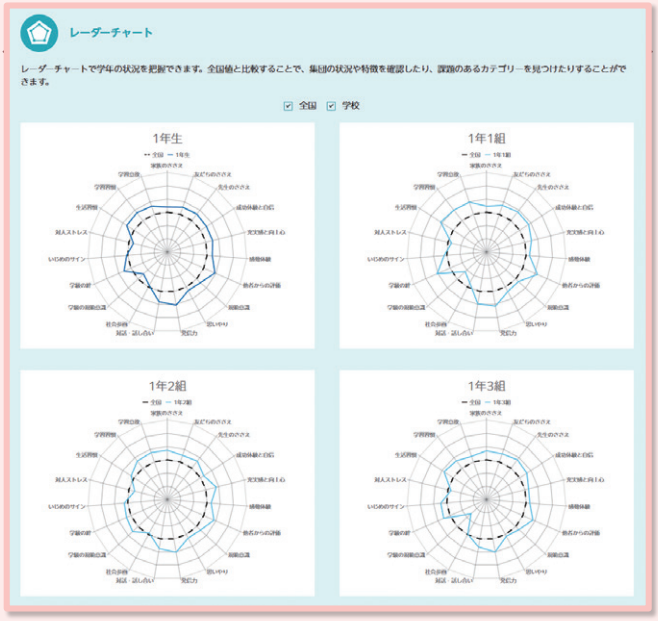
「いじめのサイン」「対人ストレス」「友だちのささえ」の3項目すべてに該当する生徒に対しては、特に慎重な対応を行っています。当該生徒のクラスメイトとの関わり方を継続的に観察し、記録するとともに、個別に面談を実施しています。生徒本人の口から、周囲との関係で負担や困難を感じている部分がないかを丁寧に聞き取り、一人ひとりにあわせた早期のサポートにつなげています。

「チーム学校」体制を強化

レーダーチャートによるクラス特性の把握と共有

データの閲覧・共有体制は、紙媒体からCBTへの移行により、その利便性が大きく向上しました。この利点を生かしつつ、野市中学校では共有方法に工夫を加えています。その一つが、レーダーチャートの活用です。クラス全体の状況を視覚的に捉えるため、クラスごとのレーダーチャートを確認し、管理職間で共有しています。

レーダーチャートの「先生のささえ」「友だちのささえ」「対人ストレス」「いじめのサイン」などを確認する際、その情報は生徒への対応のみに留まりません。生徒の状況を把握することは、結果として、負担感を抱えた学級担任がいないかを確認するための重要な指標となっています。学級担任の心理的な負担を組織的に察知し、サポートする体制を整備することで、管理職を含めた学校・学年全体で取り組むことが可能になりました。



【レーダーチャート】*画像のデータはすべてダミーです。

今後の取り組みとして、生徒のi-checkの分析をさらに深化させ、気になるサインが見られた生徒に対しては、速やかに専門職であるスクールカウンセラー(SC)との連携を図る計画を進めており、チーム学校としての支援の質を高めていきます。

今後の展望

AI活用とシステムのさらなる深化に期待

春日先生は、i-checkのさらなる機能改善と、未来の教育実践に向けた期待を寄せています。

1. データ活用の深化

今後は、学力調査と質問調査のクロス集計分析を深めることで、学力の背景にある学習意欲の要因や、表面化していない潜在的な心理的リスクを持つ生徒（学力と生活態度にギャップがある生徒）を特定し、その要因に応じたきめ細やかな個別支援が可能になると考えています。

2. AIによる学級経営支援

将来的なAI分析による学級経営支援に期待を寄せており、特に経験の浅い若手教員にとって、AIからのデータに基づく客観的な助言は、学級運営や生徒指導を行う上で非常に有用なツールになると見込んでいます。

春日先生は、「i-checkを活用したシステムが、若い先生方の学級経営を支援し、具体的な成功事例や助言を提供してくれることを期待しています」と締めくくりました。

※執筆者の所属や役職は執筆時のものです(2025年12月時点)

i-check CBT（アイ・チェック）

お申し込みから結果資料お届けまでの流れ

1 ご注文
調査開始日の10営業日前までに納品されるよう、ご注文を完了させてください。
※自治体単位でのご注文は、納品までお時間をいただきますので、早めのご注文をお願いいたします。

2 実施のてびき類の送付
実施に必要な実施部材が納品されます。「total IDスタートガイド」「実施のてびき」などの実施部材をご確認ください。

3 total IDのご登録
マイアセスのご利用や、CBTの受検に必要なtotal IDをご登録いただきます。

4 調査の実施
「実施のてびき」「調査監督要領」をご確認のうえ、調査を実施してください。

5 調査の終了報告
「実施のてびき」をご確認のうえ、調査の終了報告をしてください。

6 結果資料の掲載
終了報告後、即日、結果資料を確認することができます。

価格（小1～中3　全学年共通）

● 各学年共通1人あたり **400**円（本体364円）

ご利用条件

● ご利用には、東京書籍のアカウントシステム「total ID」への登録（無料）が必要です。
また、設定をすることで、GoogleアカウントやMicrosoftアカウントなどを利用したシングルサインオンが可能です。
● ご利用いただく際の通信費は、自己負担になります。
● 標準学力調査 CBT・i-check CBTでは、管理者・受検者の個人情報保護に細心の注意を払い、万全の管理体制をとっております。調査で取得した個人情報は、本サービスの目的以外に使用しません。ただし、匿名加工情報として研究・分析等に活用させていただくことがあります。

動作環境（推奨）

	Chromebook	iPad	Windows
OS	ChromeOS	iPadOS 17.4以降	Windows 11
ブラウザ	Google Chrome（123以降）	Safari（17. 4以降）	Google Chrome（123以降） Microsoft Edge
	●各ブラウザはリリースされている最新版でご使用ください。 ●画面サイズは1280px以上を推奨します。		
通信環境	CBTの実施の際は、同時利用を考慮して1台あたり2.0Mbps程度の通信速度を確保できる、速度の安定した環境でご利用ください。		

次の場合は紙のi-checkをご注文ください
● 紙の結果資料を返却してほしい。
● 道徳科の学習指導要領の内容項目との関連資料を申し込みたい。

i-check（アイ・チェック）

価格（小1～中3　全学年共通）

● 各学年共通1人あたり
質問紙+集計処理料 **440**円（本体400円）

ご注文に際してのお願い

● 実施部材の納品には、ご注文をいただいてから通常5～8営業日ほどお時間をいただきます。
● 各種個人別帳票には、児童生徒が書いた名前が掲載されます。プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。
● 学校のご都合で、個人用データ又は学校用データを再発行する場合は、別途有料となります。
※詳細につきましては、ご注文の際、担当者にお問い合わせください。

情報セキュリティマネジメント

ISMS認証基準の国際規格「ISO27001」および
ISMSクラウドセキュリティ認証「ISO27017」を取得し、
安心・安全にご利用いただけるよう取り組んでいます。

IC23J0562 / ISO/IEC 27001
※東京書籍株式会社　教育DX事業関連部門
株式会社 学習調査エデュフロントで取得

SC24J0029 / ISO/IEC 27017
※total ID、マイアセス、タブドリLive!、みんなにもっとNIMOT!、iFuture、コグトレオンラインの提供に係るもの

東京書籍

商品についてのお問い合わせは全国の支社・出張所までお願いします。

支社・出張所　札幌 011-562-5721　仙台 022-297-2666　東京 03-5390-7467
金沢 076-222-7581　名古屋 052-950-2260　関西・四国 06-6397-1350
広島 082-568-2577　福岡 092-771-1536　鹿児島 099-213-1770
沖縄 098-834-8084

東京書籍サポートダイヤル 0120-29-3363　受付時間 月～金 9:00～17:30（※土・日・祝日を除く）
※年末年始および当社の定めた休日も休業いたします。
お問い合わせURL https://www.tokyo-shoseki.co.jp/customer/

Copyright © 2026 by TOKYO SHOSEKI CO., LTD. All rights reserved.
※本サービスで記入された解答情報、並びに、東京書籍のアカウントサービス「total ID」に登録された個人情報は、本サービスの目的以外には使用しません。ただし、匿名加工情報 として研究・分析等に活用させていただくことがあります。
※本カタログに記載されている内容及び製品の仕様は予告なく変更する場合があります。　※本カタログは、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

・Google Chrome、Chrome OS、Google フォーム、YouTubeはGoogle LLC の商標です。Apple、iPadOS、Safariは、Apple Inc.の商標です。
・Microsoft、Windows、Microsoft Edgeは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。

A6695-6　2026.08